

第3回小矢部市小中学校統廃合審議会要旨録

1. 開催日時	令和元年5月23日(木) 13:30~16:15	
2. 場 所	小矢部市総合保健福祉センター大会議室(3階)	
3. 出席委員	富山国際大学子ども育成学部教授 小矢部市教育委員会教育長職務代理者 小矢部市教育委員会委員 小矢部市教育委員会委員 小矢部市自治会連合会会長 小矢部市自治会連合会理事 小矢部市PTA連絡協議会特別理事 小矢部市PTA連絡協議会前副会長 小矢部市連合婦人会会長 小矢部市商工会会長 (公社)小矢部市青年会議所直前理事長 大谷地区民生委員児童委員協議会会長 (公財)小矢部市体育協会副会長 社会福祉法人小矢部市社会福祉協議会会長 社会福祉法人小矢部福祉会理事長 小矢部市小・中学校長会会長 小矢部市小学校長会会長 小矢部市社会教育委員会議前議長 公募委員	仲井 文之 佐々木稲男 石野 昌一 古村 正明 川原 久俊 松本 信明 中田 稔 高嶋 成幸 飛田 久子 新明 政夫 六谷 成伸 松本 陽子 杉澤 弘司 日光 久悦 西川 康夫 川岸 直紀 大道 博史 高橋 久雄 山崎 勇
4. 欠席委員	小矢部市教育委員会委員 小矢部市女性団体連絡協議会会長	前田 智嗣 嶋田 幸恵
5. 事務局	教育長 事務局長 教育総務課 次長兼課長 課長補佐 指導主事	野澤 敏夫 砂田 克宏 中村 英雄 瀧田将一郎 吉倉 哲夫
6. 会議次第	1 開会 2 会長あいさつ 3 協議 (1) 審議会の日程・進め方について (2) 小矢部市のこれからの学校教育のあり方及び小中学校の適	

	<p>正規模・適正配置等に関する市民アンケート調査について</p> <p>①抽出方法について</p> <p>②市民アンケート調査について</p> <p>③別添資料について</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>
6. 開 会 協議	<p>【進行 会長】</p>
事務局	<p>協議事項1 「審議会の日程・進め方について」</p> <p>事務局説明</p>
会長	<p>パブリックコメントの周知ということで、期間が大体1ヶ月くらいかと思いますが、周知の方法について何か考えがあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>小矢部市の場合は、一般的にパブリックコメントはホームページに掲載します。意見交換会を行う前から周知を図りたいと思っております。おそらく広報が中心になると思われれます。</p>
会長	<p>意見交換会の進め方について6月の全体会で協議しますが、そのころから周知が始まっているということでしょうか。</p>
事務局	<p>日程が決まり次第ホームページ、広報でも周知いたします。パブリックコメントの時期については、まとめの段階でははっきりと名乗できないため、10月中下旬にパブリックコメントを予定している旨を周知したいと思っております。</p>
委員	<p>8月の保護者の意見交換会、9月の地区住民との意見交換会はどのような形なのか想像が付きません。特に地区住民とは誰がお集まりになるのでしょうか。また、どのように話し合っていくのでしょうか。</p>
事務局	<p>6月下旬の全体会で協議を予定している「意見交換会の進め方」というところでご協議いただきたいと思います。現段階では</p>

	事務局では提案できる案は持ち合わせておりません。全体会で意見交換会の進め方の案を提示したいと思っております。
会長	意見交換会への委員の参加はよいのでしょうか。
事務局	委員の皆様の参加につきましては、自由参加という考え方もあるかと思えます。
事務局	協議事項2「小矢部市のこれからの学校教育のあり方及び小中学校の適正規模・適正配置等に関する市民アンケート調査について ①抽出方法について」
	事務局説明
会長	アンケート調査は委託するのでしょうか。
事務局	委託はせず、事務局が行います。
委員	年代別、性別等いろいろな意見を聞く必要がありますが、アンケートに家族全員の回答が書けるようにならないのでしょうか。
事務局	年齢別、性別、地区別、世帯に1名となるよう抽出しますが、家族全員に回答を書いてもらうと逆に統計として公平性に欠けることになるので、難しいと思っております。
委員	意見交換会に出席できない人もいると思うので、インターネットで同様のアンケート調査を実施できないのでしょうか。
事務局	インターネットで行う場合の手法について調査が必要ですので、事務局で検討してみます。仮に実施した場合の集計結果は参考意見として別途の扱いとすることになるかと思えます。
事務局	協議事項2「小矢部市のこれからの学校教育のあり方及び小中学校の適正規模・適正配置等に関する市民アンケート調査について ②市民アンケート調査について」

	事務局説明
会長	案2と案3について検討します。 まず、案2のとおり設問（16）と（17）の参考文を資料編へ移行することは適切だと思われます。他にご意見はありませんか。
委員	設問（8）ウについて、「少人数指導」と「複数の職員」は方法が違うのですが、違いが分かりにくくないでしょうか。35人学級や40人学級という学級編制のあり方を問われるのではなく、指導方法について問われると混乱されると思います。
会長	この点について学校現場から見た意見をお願いします。
委員	混乱される心配はあります。
事務局	文末の「きめ細やかな授業を実施すること」に主眼を置いた質問です。「少人数指導」と「複数の職員」は例として示してあるものです。
委員	設問内容が小中学校統廃合ではありませんが、どういうことでしょうか。
事務局	今回のアンケートは「小矢部市のこれからの学校教育のあり方」についても問うものであり、そのことが適切な小中学校統廃合を考えるうえで参考になるとと思われます。
委員	設問（1）について、年齢区分は70歳以上が要らないのではないのでしょうか。60歳以上ではだめなのではないでしょうか。
事務局	その辺は特に意識しておりません。この場で審議された結果に応じて直します。
委員	設問（2）について、性別は不要だと思います。
委員	後から男女区分で利用することがあるかもしれないので、残すべきであると思います。

委員	同意見です。
会長	では、原案のとおりとします。
委員	<p>設問(14)と(15)について、回答区分が5人刻みとなっていますが、細かすぎると思われます。20人、30人、40人とするべきではないでしょうか。また、アとイの設問を分けるべきではありませんか。設問(18)について、アの5分刻み、イの1km刻みは細かいと思いますし、設問(17)と(19)は必要ないと思います。意見交換会やパブリックコメントで聞いていけば良いと思います。</p>
会長	その点は後で決めていきたいと思います。
委員	<p>設問(17)について、「小中一貫教育」は市民にイメージがないし、分からないと思います。小中一貫教育が特効薬のように聞こえますが、例えば中1ギャップが解消されてもその後の更に大きいギャップが心配になります。</p> <p>これまで、第1回部会資料の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」のP1に書かれている「(1) 学校規模の適正化が課題となる背景」や、P2の「(2) 学校規模の適正化に関する基本的な考え方」、また10月24日の資料「地域の教育資源の活用」などにあるように、この審議会では適正規模・適正を考えることが趣旨であり、これまで小中一貫教育の内容や是非について審議する過程を経っていません。</p> <p>小中一貫教育は教育の進め方の問題、教師が研究し議論していく問題で、この後の問題であります。ワンクッションが必要だと思います。小矢部市の小中一貫教育については、どのようにものになるか、今はイメージしにくいです。</p> <p>委員 教職員との意見交換会にも出席しました。小規模校、中規模校、大規模校それぞれの良さがあります。市内の小規模校のデメリットを如何に解決するか、適正規模を、デメリットの解消を、と議論してきました。</p>

	<p>ポンとここに小中一貫教育が出てくるより、次の段階で検討することとし、今回はワンクッション入れても良いと思います。</p> <p>あと、設問（１４）と（１５）について、共にイは要らないと思います。</p>
教育長	<p>審議会において小中一貫教育の検討の場を設けることは初回に協議された日程に基づくものです。１２月４日の審議会全体会で協議され、更に１月２９日に行われた氷見市の小中一貫教育校への事例視察を経て、ここに提案されています。学校統廃合は、この先４０年５０年を見据えた課題です。小中一貫教育は、今日の全国的な流れとなりつつありますが、確かに、その中身はまだまだ広く知られておりません。実際に小中一貫教育の形態も様々であり、どのような形がいいのか、また、その採否の是非そのものを含めてこれから議論されることに意味があると思われま</p> <p>小中一貫教育は小規模校に対応した考え方として採用されているケースもありますが、必ずしもそれに限ったものではありません。例えば高岡市では学校現場の大小にこだわらず、全市的に学校統廃合と共に小中一貫教育を進めることとされておりま</p> <p>中には小学校３つと統合し、中学校と併設の小中一貫校を計画されているケースもありますが、学校統廃合を考えると単なるパズルの組み合わせではなく、統廃合の先にある学校教育のあり方について考えることが大切だと思われま</p> <p>その中で、今、全国の大きな流れとなりつつある小中一貫教育についての考察を行わずに答申に至るより、結論は別として「考察を経る」という過程があることが大切だと思われま</p>
会長	<p>教育長からは小中一貫教育についての考察を経ることが大切との意見をお聞きしましたが、一方では内容の分からない市民には混乱が起きるのではないかと、との意見もありました。いかがですか。</p>
委員	<p>設問（１７）について、設問位置を変えてはいかがでしょうか。あるいは、今後のために聞く、とかの注釈を入れてはどうでしょうか。</p>
教育長	<p>実は設問（１７）は、末尾に持ってくる方法や他の方法も考えたりしました。更に別の聞き方も考えましたので、その資料を配りま</p>

	す。
会長	末尾に「以上で設問を終わります。」とか入れた後に「参考としてお聞かせください」とすればどうでしょうか。
教育長	そのような方法を採用となれば、事務局で具体的な文面案を考えさせていただき、結論は会長と相談して決めさせていただくということではいかがでしょうか。その後、市民アンケート調査用紙を送らせていただきたいと思います。なお、今ほど配付した資料は撤回させていただきます。
委員	設問（１７）参考について、良いことばかりが書かれていますが、デメリットも載せるべきではないでしょうか。
教育長	設問（１７）の参考は、国が公表している資料の内容をまとめたものです。国はデメリットについて公表していないため、公的な見解に基づくものとしては記載できなかったものです。
委員	アンケートの数値をどのように受け取ればよいのでしょうか。
事務局	基本的な分析で申し上げますと、設問に対して全体の中での率を示します。さらに、例えば、子育て世代ではどのような率か、地区別ではどのような率かなどをクロス集計して示すことになると思います。その中から、市民の意見を読みとっていただければと考えています。
会長	それでは、皆さんの判断をお聞きします。今のところ設問（１７）を載せる、載せる場合は位置を移す、載せないの３つの選択肢がでています。
委員	まず載せるか、載せないかの意見を聞くことが妥当と思われます。
会長	それでは、設問（１７）を載せるか、載せないか挙手願います。
	【載せる挙手多数（１０名）、載せない挙手少数（８名）】

会長	<p>設問（１７）を載せることにします。次に、別の形で末尾に載せるか、そのままの設問（１７）として載せるか举手願います。</p> <p>【別の形で末尾に載せるに举手多数（１６名）、そのまま載せる举手少数（２名）】</p>
会長	<p>設問（１７）は、別の形で末尾に載せることとします。</p>
会長	<p>設問（１８）について、事務局から修正の説明があったように「バス乗車時間・自転車通学距離」に「限度」の文言を入れて「バス乗車限度時間・自転車通学限度距離」としてよいか確認します。</p> <p>【反対意見なし】</p>
会長	<p>では「限度」を入れて「バス乗車限度時間・自転車通学限度距離」とします。</p>
委員	<p>設問（１９）について、「分割・再編」を通学路とすればどうでしょうか。</p>
事務局	<p>審議会としてまとめれば、その案に変更します。設問（１９）についてはいかがですか。</p>
委員	<p>設問（１９）について、設問によっては、結論の決めつけになってしまうため、はっきり聞けないものもありますが、今回は統廃合をはっきり聞くべきだと思います。</p>
委員	<p>統廃合については設問（１４）と（１５）が判断材料になりますし、設問（３）で回答者の校区も聞きますので、設問（１９）ではっきりと校区の分割再編について聞かなくても推測できると思います。</p>
委員	<p>校区の分割再編とは、どんな場合が考えられますか。</p>
事務局	<p>一つの可能性ですが、例えば学校の統廃合を行わずに、学校区を</p>

	<p>変更して、A学校の児童生徒がB学校やC学校へ通うなどの場合が想定できます。</p> <p>教育長 資料【1小矢部市の小中学校統廃合の経緯】にもあるように、昭和54年の統廃合の時は、2校を単純に1校に統合するだけでなく、2校を統合しつつ一部地区については、校区を分割し、別の学校に通うことにしました。このような方法について、市民の皆さんはどのような意見をもっていらっしゃるのか聞いておくことは、適正配置を考えるうえで参考になると思います。ただ今ほどのご意見のように設問(3)と(14)(15)のクロス集計により、ある程度推測は可能ではあります。</p> <p>委員 設問(19)を載せるとしても、分からないときの逃げになるので、選択肢の3は要らないと思います。</p> <p>会長 それでは、設問(19)を載せるか、載せないか挙手願います。</p> <p>【載せる挙手8名、載せない挙手10名】</p> <p>会長 設問(19)は載せないこととします。</p> <p>只今の説明について、ご意見、ご質問等はございませんか。</p> <p>【質疑応答】 前述に同じ</p> <p>会長 次に、協議事項の2の③「別添資料について」、事務局より説明願います。</p> <p>事務局 協議事項2「小矢部市のこれからの学校教育のあり方及び小中学校の適正規模・適正配置等に関する市民アンケート調査について」 ③別添資料について」</p> <p>事務局説明</p> <p>【質疑応答なし】</p>
--	--

	<p>協議事項は全て終了いたしました。委員の皆さまから、追加のご意見、ご質問等はありませんか。</p>
委員	<p>(6)キについては悪い結果が出ると、教職員のモチベーションに悪影響が出るのでクロス集計によって学校が特定されることのないよう配慮していただきたいです。</p>
教育長	<p>元々、この設問についてのクロス集計は想定していませんでしたので、行わない方法で進めたいと思います。</p>
会長	<p>他にありませんか。 無いようですので以上をもって事務局にお返しいたします。</p>
事務局	<p>【事務連絡】</p>
教育長	<p>【教育長あいさつ】</p>
事務局	<p>ありがとうございました。 以上で本日の審議会は終了とさせていただきます。</p> <p>【閉会】</p>